

2025年度 成果報告会

本拠点では、超耐熱性、耐水素性、耐疲労性、耐摩耗性など、多様な極限環境下で長期使用に耐え得る機能(「極限機能」)を備えた構造材料とその利用技術のデータ駆動型開発を、産官学のオールジャパン体制で推進します。そして、構造材料の長寿命化や新しい構造システムの高効率化に向けた、データ駆動型マテリアルの科学と工学の構築を目指します。本拠点は、我が国の構造材料研究の拠点として、デジタル・トランスフォーメーション(DX)の可能性を無限に拡げながら、世界の構造材料分野をリードしていきます。本報では、開始から4年の取組みで得た知見・成果と今後の方向性を皆様と共有し対話することで、日本のモノづくり力の加速的進化・発展につなげたいと考えております。皆様のご来場を心よりお待ちしております。



拠点長：
 東北大学大学院工学研究科
 教授 **吉見享祐**

日時 2026年4月27日(月)
 13:00~18:40 (開場12:30)

講演会場 一橋大学・一橋講堂 2階 一橋講堂
ポスター会場 同上 2階 中会議場1,2
住所 〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2丁目1-2 学術総合センター-2F
参加費 無料 (※事前申し込みをお願いします)

※参加申し込みは、こちらのQRコードから →



※一橋講堂アクセス QRコード

【プログラム】

開会挨拶 (座長：及川 勝成 副拠点長 超耐熱材料プロジェクト メンバー、東北大学 大学院工学研究科 教授)	
13:00~13:10	拠点長挨拶 拠点長 超耐熱材料プロジェクト リーダー 東北大学 大学院工学研究科 教授 吉見 享祐
13:10~13:20	来賓挨拶 文部科学省 研究振興局 (ナノテクノロジー・物質・材料担当) 参事官 服部 正 文部科学省 データ創出・活用型マテリアル 研究開発プロジェクト (DxMT) プログラム・ディレクター 栗原 和枝 (東北大学 名誉教授)
招待講演 (座長：及川 勝成 同上)	
13:20~14:10	Unifying Microstructure Analysis, Explainable AI, and Active Learning for Materials Innovation. Pohang University of Science and Technology Prof. Hyoung Seop Kim
14:10~14:40	鉄鋼科学研究への期待 ~イノベーションを支え続ける構造材料であるために~ 日本製鉄株式会社 フェロー 河野 佳織
休憩	
拠点成果報告 (座長：尾方 成信 理論計算グループ リーダー、大阪大学 大学院基礎工学研究科 教授)	
15:00~15:20	デジタルツイン時代に向けたRISMEの挑戦 データ活用促進グループ リーダー NIMS 技術開発・共用部門 部門長 出村 雅彦
15:20~15:40	自動自律探索システムが拓く構造材料の可能性 耐疲労表面硬化材料プロジェクト リーダー 東北大学 金属材料研究所 教授 宮本 吾郎
15:40~16:00	材料組織を予測する： フェーズフィールドモデル×深層生成モデル×実験画像 超耐熱材料プロジェクト メンバー 名古屋大学 大学院工学研究科 准教授 塚田 祐貴
16:00~16:20	データ駆動型ハイスループット超耐熱合金開発に向けた球形粒子製造の新展開 計測評価グループ サブリーダー 東北大学 大学院工学研究科 教授 野村 直之
休憩	
ポスター成果発表会 高強度耐水素材料P、耐疲労表面硬化材料P、超耐熱材料P、および 計測評価G、理論計算G、データ活用促進Gのメンバーによる発表 43件を予定 16:40~18:40 ※16:40~17:40、17:40~18:40の2部制で実施	



← RISMEホームページQRコードはこちら
 お問い合わせ先：secretariat@risme.org

RISMEの組織体制はこちらのQRコードから
 ご覧ください →

